



2025年12月17日

各 位

会 社 名 あすか製薬ホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 山口 惣大
(コード番号 4886 東証プライム)
問い合わせ先 グループ経営企画部長 市川 学
(TEL. 03-5484-8366)

あすか製薬ホールディングス、「CDP2025」の「気候変動」において「B」スコア、 「水セキュリティ」において「B-」、「フォレスト」において「C」スコアを取得

あすか製薬ホールディングス株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:山口 惣大、以下「当社」)は CDP2025 において、「気候変動」:「B」スコア、「水セキュリティ」:「B-」スコア、「フォレスト」:「C」スコアを取得しましたので、お知らせいたします。



CDP は、世界で唯一の独立した環境情報開示システムを運営する非営利団体であり、多くの企業、金融機関、自治体が、環境への影響を管理するために CDP のシステムを活用しています。CDP は情報開示組織より報告されたデータを独自手法で評価し、8段階 (A, A-, B, B-, C, C-, D, D-) のスコアを付与します。

(CDP2024においては、世界の 24,800 社を超える企業が回答し、日本企業全体ではプライム市場上場企業の 70%以上を含む、2,100 社以上が情報を開示したとされています。)

今回取得した「B」および「B-」スコアは、マネジメントレベル「自社の環境リスクや影響について把握し、行動している」。また、「C」スコアは、認識レベル「環境課題と事業の関連性についての評価の包括的に測定している」と評価されたことを示すものです。

当社は、中期経営計画 2025 において「スペシャリティファーマを基盤とするトータルヘルスケアカンパニー」の実現を目指しています。環境面では、地球規模で深刻化する気候変動問題を事業に影響をもたらす経営課題の一つと認識し、気候変動対策に積極的に取り組んでいます。

今回の評価は、当社グループの気候変動への取り組みが社会の期待に一定程度応えた結果として受け止めており、今後も、さらなる脱炭素化をはじめとした持続可能性を追求してまいります。

以 上